

第2回循環資源の効率的な海上輸送推進に向けた検討会を開催

- 鉄スクラップ輸出先が遠方化(韓国・中国⇒東南アジア以遠)する中でも、効率的な海上輸送を維持するため、関係者や他港連携により、貨物の集約化・船舶の大型化を図るため、酒田港の地元関係者・本局による検討会を実施
- 令和2年8月に続き2回目の検討会を開催

第2回検討会

●日時・場所

令和3年3月23日10:00～11:30 於:酒田港湾事務所会議室

●参加者

東北地方整備局・山形県・酒田市・NPOリサイクルポート情報センター
(アドバイザー)港運事業者(2者)・鉄スクラップ事業者(3者)
港湾局 海洋・環境課(web出席)
北海道開発局 港湾計画課

●議事内容

- 最新のリサイクルの動向について
- 石狩湾新港の状況について
- 酒田港における鉄スクラップ輸送について

●主な意見

- 他港連携をする際には、自社間での相積みであれば問題ないが、他社との相積みは難しい。
- 鉄スクラップの輸出ではコスト、品質確保、価格相場などの影響を受けるため、他港連携輸送する場合においては、トータルの事業計画を組む必要がある。
- 現状の酒田港における他港連携により船舶が大型化されると、施設のキャパシティや荷役機械の能力に関しても課題がある。



第2回検討会の状況